

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット2018年7月12日 第103号
TEL 592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

朝鮮半島非核化の展望と日本の現状

9条の会・北九州憲法ネット
代表世話人座長 荒牧 啓一

70年近く戦争状態が続いてきた朝鮮半島で非核・平和の道筋が見えてきました。6月12日、シンガポールでトランプ米大統領と金正恩北朝鮮国務委員長が会談を行い、共同声明に署名しました。共同声明は、トランプ氏と金氏は、新たな米朝関係の構築と朝鮮半島の平和体制の建設について意見交換を行い、トランプ氏は北朝鮮に安全の保証を与え、金氏は朝鮮半島の完全な非核化を再確認しています。二人は、新たな米朝関係の構築が朝鮮半島、ひいては世界の平和と繁栄につながると確信し、相互の信頼醸成が朝鮮半島を非核化するとの認識を示したのです。

重要なことは、共同声明がめざしている「朝鮮半島の非核化」と「朝鮮半島における永続的で安定した平和体制の構築」の課題を実現するには、米朝間の協議だけでなく、韓国、日本、中国もこの課題を前に進める対応が求められていることの認識が必要ということです。日本が北東アジアの平和体制の構築にどのようなかわりをするのか問われています。憲法9条を持っている日本がどう貢献するかが問われます。

しかし、日本では、改ざん、隠蔽、ねつ造、セクハラ、裏口入学・・・民主主義の土台を壊す嘘とゴマカして、安倍首相、政権に対する信頼が大きく揺らいでいます。

それでも安倍首相は、過労死を促進する「働き方改革」一括法の成立強行（6月29日）、延長国会では、カジノ実施法案、水道法改正法（地方自治体の水道事業の民間企業への委託を推進するもの）、参院選挙制度に関するこれまでの議論を無視した公職選挙法改定案を

成立させようとしています。森本・加計などの疑惑解明は無視しています。

また、朝鮮半島をめぐる情

勢が緊張緩和に大きく動いているにもかかわらず、政府は北朝鮮の「差し迫った脅威」を口実に導入を決めた地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画を予定通り進める方針です。

やりたい放題。このような事態は、まさに日本の民主主義の危機であり、「アベ政治ノー」の一点で一致し、安倍政権を倒すことは急務です。市民と野党の共同で、日本の民主主義を回復し、嘘のない政治、民主主義を守る政治を取り戻すため力を尽くそうではありませんか。

そのためには、これまで声を上げられなかった人があげることができる運動を工夫する必要があります。いろいろな考え方を持つ市民が幅広く共闘する必要があります。それぞれ考え方はちがいます。しかし、法の支配や立憲主義、そして民主主義がここまで壊されている状況においては、緊急避難的に、「個人尊厳を擁護するための政治」（「市民連合」呼びかけ人、中野晃一氏）という点で一致し、同じ方向を目指していることを確認しつつ、



今後の運動については議論をしつつ、それぞれ工夫してやればよいのです。政府にたてつくようなことをすると何か政治的なことを持ち込んだといったレッテルを貼られてしまう日本の政治をとりまく状況を乗り越えようで

はありませんか。

追伸；平成30年7月豪雨の被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。くじけず頑張ってください。

あすキタ（明日の自由を守る若手弁護士の会 北九州）の活動について

1. 昨年末から、あすキタ(明日の自由を守る若手弁護士の会 北九州)の活動を始動しましたので、その活動内容・実績についてご報告致します。

2. あすキタについて

全国のあすわか(明日の自由を守る若手弁護士(の会))の活動に刺激を受け、北九州でも昨年末からあすわか北九州、通称「あすキタ」の活動を開始しました。あすわか(の会)の主な活動である「憲法カフェ」は、一般の方には固いイメージのある憲法について、お茶を飲みながらゆる〜く語りましょうというカジュアルな企画です。

活動の目的は、憲法について知識の乏しい一般の方々を対象に、憲法とは何かという基本的知識・改憲の必要性や問題点についての情報を提供すること、その上で一緒に考えること等です。



憲法改正が議論され、国民投票も現実味を帯びている一方で、憲法についての国民の知識・関心は非常に低く、権力を縛るものだという憲法の本質すら知らない国民が少なくありません。このような実態のまま、国民投票を行っても、そもそも国民にその是非を判断するだけの知識・情報がなく、民主主義は画餅に終わってしまいます。このような事態を避けるため、私達は、法律

黒崎合同法律事務所 朝隈 朱絵
家として、民主主義が正しく機能するよう、今、出来る限りのことをやりたいと考えています。

3. 活動の状況

あすキタでは、今年に入ってから、憲法カフェや憲法バーを、月に1~2回のペースで行っています、いずれも好評で、特に、憲法バーについては、定員を大幅に超える応募があり、第2回目も開催し、朝日新聞にも取り上げられたところです。

4. 今後の活動予定

憲法カフェ参加の呼びかけをしていると、よく分からないけど、知りたい、興味があるという方が、意外に多い印象です。草の根レベルの活動ですが、地道に回数を重ねていきたいと考えています。一度参加した人から、「今度はこちらの職場でやってほしい」というような依頼を受け、さらにそこに参加した人が、「次はこちらのママ友の集まりに来て欲しい」というように・・・時、場所、参加者問わず、参加者の口コミで広がるように、ネズミ講式に広げていきたいと考えています。今後、あすキタでは、まだ予定段階ではありますが、企業の新人研修や、学校にも講師派遣をしていきたいと考えています。

主催依頼が増えれば、その分、講師側弁護士のマンパワーも必要だということです。各弁護士に声を掛け、当初3人で始めた活動が、今や約10名に増えています。

活動をしていると、資金や講演内容等、まだまだ改善策を考えなければならない点が多々ありますが、皆様のご支援を受けて、活動を活発にしていきたいと考えていますので、是非応援をお願い致します。

3000万署名推進する「小倉地区の会」 3次の 地域ローラー署名行動で2063戸を訪問、503筆の署名を集約

安倍内閣による、国政のゆがみは、目を覆うばかりです。

当然、責任を取って、政権を下りるべきです。しかし、安倍首相は、政権を下りず、一層の憲法改悪の方向を進もうとしています。これは、それ



をしなければ、自民党の内部から、引導を渡されるからです。

これに対抗して、全国で、憲法9条を守るための3000万署名の推進が行われています。このうち、既に1

350万筆の「憲法9条を守れ」の国会請願署名が集まっています。

3000万署名推進小倉地区の会では、今年に入って、第一土曜日の小倉駅前宣伝、2回のロングラン宣伝、さらに、対象地域の全ての家庭を回る「地域ローラー署名」を3回行いました。

4月から6月にかけて3回のローラー署名を行いました。結果、参加した活動家の人数は121名、訪問した家は2062戸、留守が多く、半分に達しています。署名数は合計で、351戸の家で、503筆の署名が集まりました。

署名数を見ると、対象地域の特徴がでてきているのも興味深いです。

七月、八月は、平和行進や原水禁世界大会等の全国行事があるため、統一行動は休み、九月から再開することになっています。新しい出会いを求めて、地域ローラー作戦は進みます。

憲法随想

命かけても

徴兵は命かけても阻むべし

母・祖母・おみな牢に満つるとも

石井 百代

「青い空合唱団・九条の会」のメンバーです。

市井の平凡な母であった石井百代さんは、3男4女にめぐまれて、この時代に生きる人間としてあたりまえに戦争を受け止めてきた。夫は軍医としてマニラへ、身体が弱かった長男は火薬廠へ徴用され、二男は士官学校等を経て職業軍人として外地へ渡った、お国のために言わば大切な家族3人を差し出したのだ。

そして更に自分の兄、甥、2人の従弟義弟

までかりだされ、殉国の名の下に戦死させてしまったことへの大いなる怒りがこの短歌の中核である。

1978年の朝日歌壇に投稿して掲載されてより多くの女たちの共感があつまったのもムベなるかなであろう。

時あたかも福田内閣が有事立法の研究を始めようと画策中であった。百代さんは「草の実会」を結成して、もう戦争はゼツタイいや命をかけてでも孫たちを戦場に送らない決意で詠んだのがこの歌で、これを契機に運動が広がり、自民党政権が有事立法提案に踏み切れなかったのは、このうたの力だという人さえいる程である。

青い空合唱団・九条の会 江口 道子

あんなことコンナコト

82歳の私が「八十二歳の日記」を読む

82歳の私が、アメリカの女性作家メイ・サートンの「八十二歳の日記」を読んでいる。なんとおあつらえ向きな！最初に読んだのは、作者六十一歳のときに出版された「独り居の日記」。次が「七十歳の日記」今三冊目の「八十三歳の日記」。この中に病気がすすんでペンが持てなくなり、テープに吹き込んでいる様子が書かれており、間もなく八十三歳で死を迎える。

ベルギーで生まれ、四歳の時、第一次世界大戦を逃れて、父母と共にアメリカに亡命、マサチューセッツ州ケンブリッジで成人する。小説家・詩人・エッセイストとして活躍。彼女の日記は繰り返し読みたいので高価だけど購入した。「八十二歳の日記」だけは絶版ということなので、図書館に返しては借り、返しては借りしている。だからいつも手元にある半ば自分の本のようなものだが、困るのは傍線が引けないこと。

日記だから、枕元に置いておいてパラパラ開いてどこを読んでもよく、どこにもここにも線を引きたいところがある。アメリカの遠く遠く離れた彼女の生活の一部始終が手に取るようにわかり共感するのだ。

自身の文学を向上させたり発展させたいばかりに、荒野の中の老屋に移り住み、零下20度とか30度にもなる土地にあえて身を置き、孤独の中で思索を深め何かを掴もうと格闘している作家が、毎日届く巨大な郵便物の塊や次々やってくる訪問者に悩むのが気の毒だが滑稽。



メイ・サートン

この日記の魅力は何なのでしょうね。ふつう私たちはおしゃべりをして内面まで明かしませんよね。それを打ち明けてくれる。だから親友になれる。その喜びで心が満たされて私はねむりにつけるのかな。有り難う、メイ。
賛同者 寿崎登美子(おりお9条の会ニース
2018年7月号No.155から)

カンパありがとうございます。そして、お願い！

当会は、一貫して、憲法及び9条を学び、守り発展させるため、学習会や講演会、署名活動、街頭宣伝などの諸活動を行ってきました。ニュースの発行は、90号になりました。毎回700人の方にニュースをお送りしたり、手渡ししたりしています。その費用は、当会は会費がないのですべてカンパで賄っています。安倍政権の憲法破壊、立憲主義無視の暴走を阻止する戦いは山場です。しかし、当会の活動資金が枯渇しています。皆さんのお力で当会の活動を支えてください。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 5月 小川由美 小司洋子 尾鶴眞 山根二三子 安藤昭雄 6月 内田つなお 玉井史太郎 野瀬秀洋 大東清美 安達恵美子 中村洋一郎 川原巖誠 小沢和秋 横井和江 崎長節子 竹中久 三崎英二 小倉東総合法律事務所 荒牧啓一 中川紘子 木村昌稔 浜野静子 渡辺末子 織田博吉 諸岡昭三郎 松井岩美 三輪俊和 三輪幸子 山口司郎 増野ノリ子 福富直美 後藤篤子 久保忠彦 山本知恵子 7月 小川由美 メッセージ ●国会をみていて、人間とは何か？いつになく哲学的に。私らしくないと笑ってしまいます。5/21 Y. O ●国会での多数をたのむ戦後最悪の安倍政権を打倒しよう 6/4 H. K ●いつも通り会費のつもりで送金しますので、よろしく 6/5 K. O ●ニュース毎号ありがとうございます 6/5 T. K ●いつもお世話になります 6/5 Y. N ●活動カンパとして 6/8 E. M ●いつもニュースを送って頂きありがとうございます。全国の九条の会の様子がよく分かります 6/12 S. H ●少しですが。6/15 S. W ●暑さに負けそうですが、なんとか、しのいで行きたいです 7/2 Y. O